

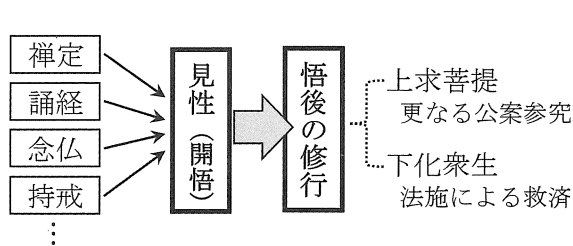


白隠の 実践体系

柳 幹 康

白隠によれば我々はみな、仏心という本性を具えており、それを見て取りさえすれば仏となり、生死（輪廻）も涅槃（悟り）も夢であつたことが分かるのだといひます（第五回参照）。とはいへこの話を聞いただけで、仏になれる人は恐らくいないでしょう。なぜなら言葉で説かれた教えは所詮「絵に描いた餅」に過ぎず、「聴いただけでは腹はふくれぬいし、水も飲まねばその冷暖は分らない」からです（『おたふく女郎粉引歌』）。仏であるという自覚・実感を得るためには、正しい実践が欠かせません。今回は白隠が示す実践体系の概略を見てまいります。

最初にその構造を図示すると、次のようになります。



ればこれらはみな、「見性けんしやうの助因じゆいん」——本性
 (仏心)を見てとるための助け——となります
 (『宝鏡窟ほうきやうくわう之記のき』)。

この四種のみならず、仏教における各種実

図のうち、左側に列
 挙した禅定・誦経・念
 仏・持戒はいずれも仏
 教の実践です。禅定は
 坐禅すること、誦経は
 お経を讀誦すること、
 念仏は南無阿弥陀仏と
 唱えること、持戒とは
 戒律(修めるべき徳目
 と守るべき規範)を持
 つことです。白隠によ

踐はみな仏心の看取に至る道ですが、なかで
 も最も効果的なのが禅定だとされます。なぜ
 なら禅定において参究する公案(禅の課題)
 こそが、修行者に深い疑いを抱かせ、それが
 「道(真理)に進む羽翼」となるからです(『遠
 羅天釜 続集』)。なお仏心を看取するために
 はこの疑いのほか、仏心の存在と公案参究の
 重要性に対する確信、および途中で投げ出さ
 ずに完遂しようという決意が必要とされます
 (第八回参照)。

仏心という本性を見てとるのが「見性」、
 すなわち開悟であり、悟りを開いた後は「悟
 後の修行」に進みます。「悟後の修行」とは
 文字通り「悟りし後の実践」の意で、以下の二
 つの側面から成ります。第一が上求菩提——

上に菩提を求めるとして、具体的には更なる

が付かない。

〔荊叢毒藥〕卷一

公案参究により、自身の境界を不断に練り上げていきます。第二が下化衆生——下に衆生を教化する——で、法の施しにより人々を教え導きます（『お婆々々の粉引き歌』）。一連の実践のなかでも核となるのが、「見性」と「悟後の修行」中の下化衆生であり、この二つについて白隱は次のように述べています。

つまり自分自身の「見性」と下化衆生のための「教法」の双方を兼ね備えなければならぬというわけです。ではこの二つをどのように身につけるのでしょうか。その流れについて次回以降、詳しく見てまいります。

【主な参考文献】

芳澤勝弘『荊叢毒藥』（禅文化研究所、二〇一五年）。

見性のみで（下化衆生のための）教法を欠くのであれば、それは片方の車輪が欠けた車のよう（なもので進むことはできない）。教法のみで見性を欠くのであれば、それは言葉を話すオウムのよう（なもので何を話しているのか自分でも皆目見当

柳幹康（やなぎ みきやす）

一九八一年栃木県生まれ。二〇一三年東京大学大学院博士課程修了、博士（文学）。現在花園大学国際禅学研究所副所長・准教授。著書に『永明延寿と『宗鏡録』の研究——一心による中国仏教の再編』（法藏館）。

お願い

花園俳壇・花園歌壇

俳壇・歌壇への投稿は、それぞれ別の郵便はがきを使用し、各三句(首)までを読みやすく書いてお送りください。

*ㄨ切りは毎月1日です。

『花園』へのご意見・感想など

本誌へのご意見・感想など、「編集室花園係」までお送りください。お待ちしております。

送り先

〒616-8035 京都市右京区花園妙心寺町64
妙心寺派宗務本所内編集室
俳壇／歌壇／花園 係

*住所、氏名を必ずお書きください。

*俳壇・歌壇ともに作品は未発表のものに限ります。(他誌投稿作品、転載は不可)

*なお投稿はお返しいたしません。



「いつもココロに花園を」
あなたとわたしのポケットエッセイ集

【花園】第69巻 第10号(通巻第818号)
令和元年10月1日発行(毎月1日発行)
定価55円

【発行人】栗原正雄

【編集人】畠中寿浩

【印刷人】喜田眞司

【発行所】〒616-8035 京都市右京区花園
妙心寺派宗務本所 教化センター
振替／01060-9-1400番
電話／075-463-3121番

表紙の絵

「稔るほど頭のさがる稲穂かな」



偉くなればなるほど、
頭の低い謙虚な姿勢ができる事が
人格者の証。 絵・花咲幸絵

月刊『花園』1冊送りの年間購読料は、1,560円(税・送料込)です。
下記のお電話か、ホームページでお申込みください。

【妙心寺派宗務本所 頒布課】電話：075-467-2990

【妙心寺派直売店 web shop】

<http://www.myoshinji-shop.jp/fs/myoshinji/g05-0002>

*乱丁、落丁本はおとりかえいたします。